

2016年3月期 中期経営方針

成長機器市場をターゲットにして、
有力なグローバル顧客を対象としたビジネスに
経営資源を集中し、中長期の成長を加速させる。

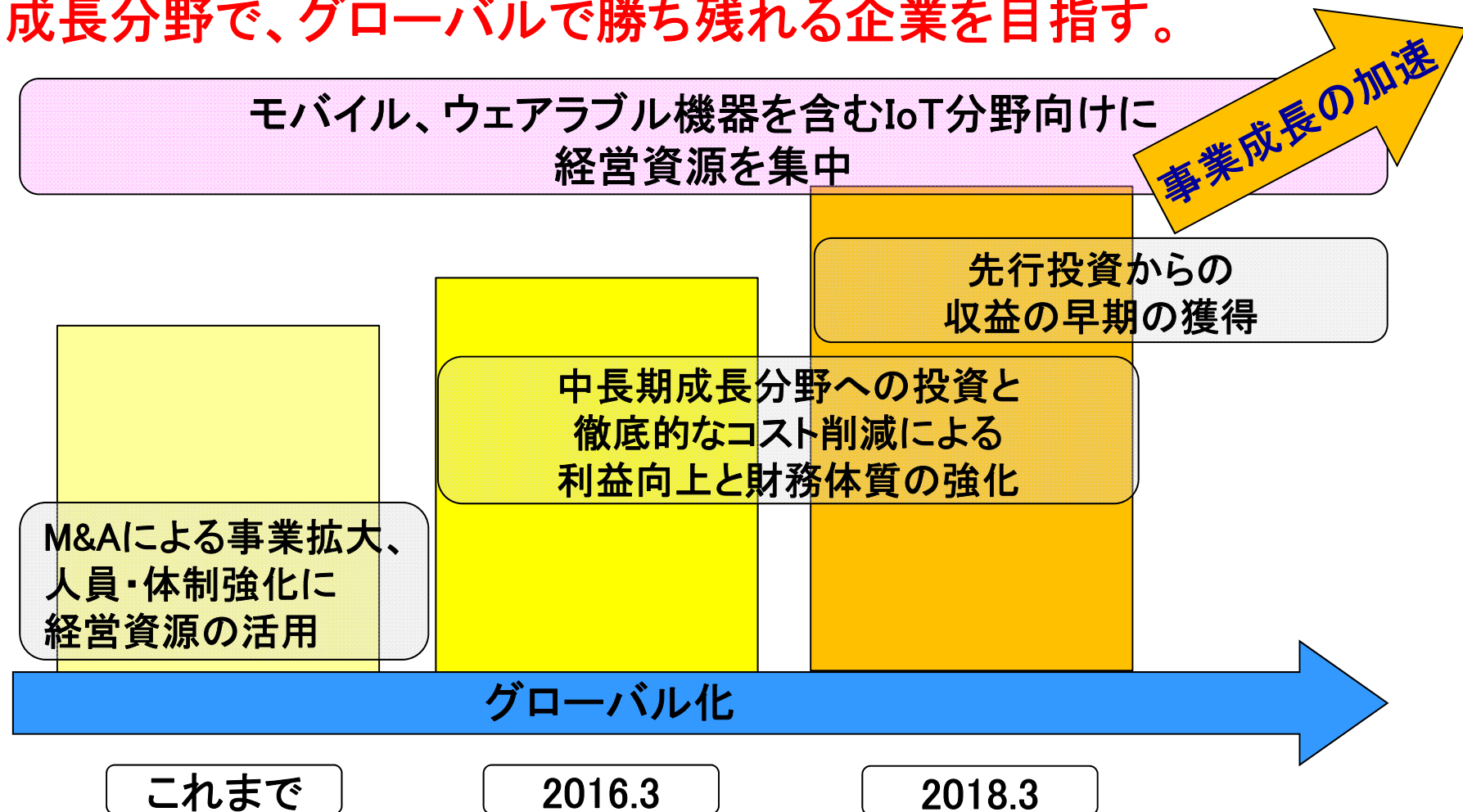
①モバイル、ウェアラブル機器を含むIoT分野向けに、
特定用途向け(ASSP)製品を中心に、
プラットフォームを構成する製品の拡充を図る。

②応用(アプリケーション)とマーケティングを強化し、
顧客サービスの充実を図ることで、
有力グローバル企業とのビジネス関係を拡大する。

③営業利益率の向上と高成長・高収益体質への転換を図り、
財務基盤を強化するとともに、会社の経営状況を勘案したうえで、
積極的な利益還元に努める。

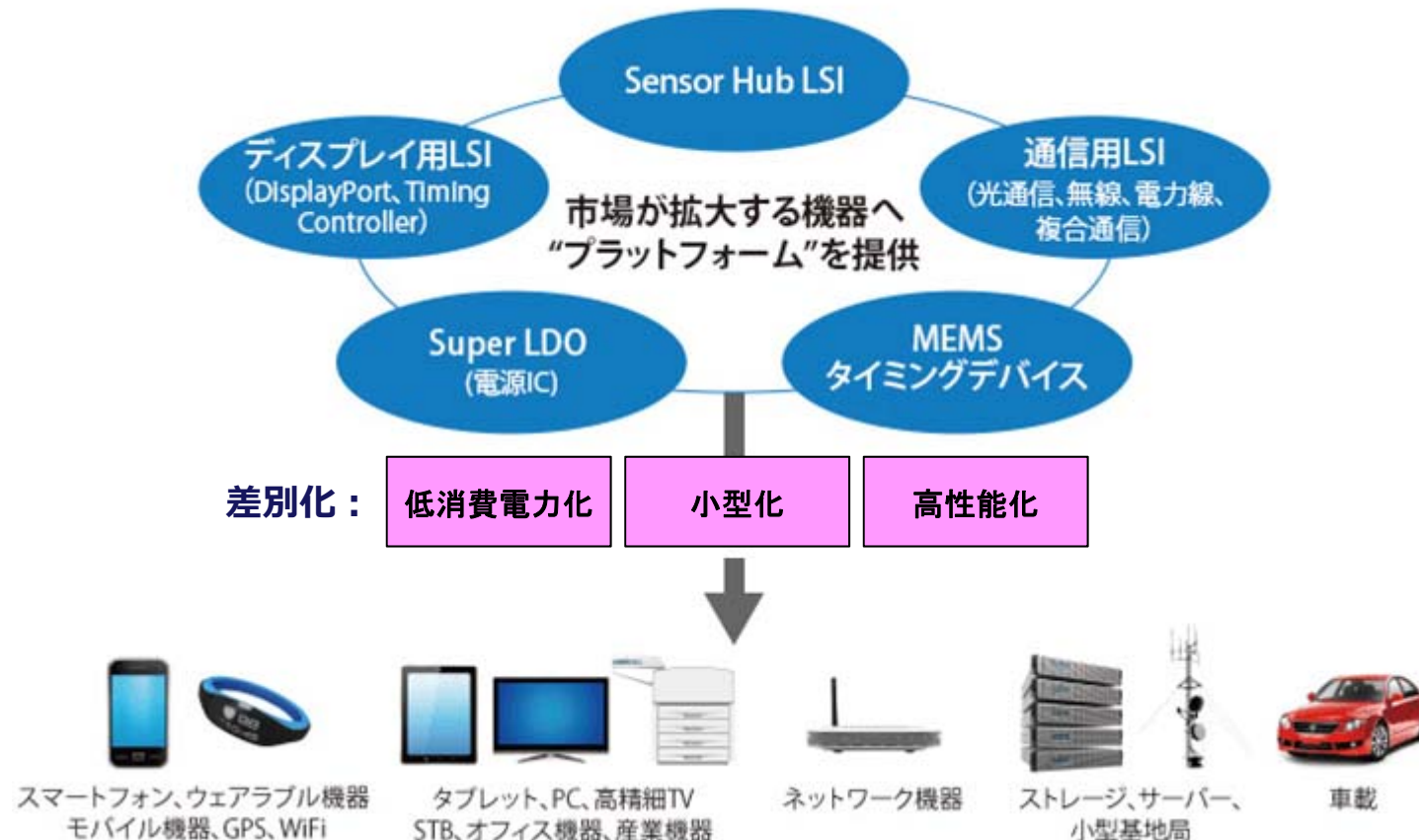
中期経営方針

安定して収益を出せる企業体質へ
成長分野で、グローバルで勝ち残れる企業を目指す。



中期経営方針(1)

①モバイル、ウェアラブル機器を含むIoT分野向けに、特定用途向け(ASSP)製品を中心に、プラットフォームを構成する製品の拡充を図る。



中期経営方針(2)

②応用(アプリケーション)及びマーケティングを強化し、顧客サービスの充実を図ることで、有力グローバル企業とのビジネス関係を拡大する。

開発、営業サポート体制の体制強化を通じて、世界の有力顧客への提案・サポート力を強化するとともに、グローバル企業としての価値向上と継続的な成長を目指します。



強化した顧客サービス

ビジネス拡大を目指す地域

中期経営方針(3)

③利益配分に関する基本方針

【方針】

- ①中期的な経営状況の見通しを考慮の上、連結当期純利益(但し、会計・決算・税務上の特殊要因は、十分勘案の上、加減算することもあります。)の30%以上に相当する額を配当金総額として決定し、これを期末時点で保有する自己株式数を差し引いた期末発行済株式数で除した金額とします。
- ②企業価値の持続的な向上を目指し、革新的な新技術の創出のための基礎研究や独創的な製品の開発、適正な事業ポートフォリオの実現、優秀な人材の獲得など、中長期の成長に向けた資金を確保すること、ならびに経営環境の変化にも耐えうる健全な財務体質を維持すること、にも配慮します。
- ③資本効率向上のため、市場の状況、株価動向、財務状況等を勘案し、機動的に自己株式を取得し、株主の皆様に還元するよう努めます。

